

令和4年度 愛西市地域ケア推進会議 会議録（概要）

会議名称	愛西市地域ケア推進会議
開催日時	令和5年3月29日（水） 午後2時00分から午後3時07分
開催場所	愛西市役所 南館会議室 1-3・1-4
出席委員	平井正 鷺野明美 堀智宏 山内嘉丈 横井三千雄 浅野弥生 日高由紀 山中誠治 東元子 栗畑由紀夫 井上圭子
欠席委員	山田景子 三和田篤 杉浦笑子 五藤陽子
事務局	保険福祉部長 小林徹男、保険福祉部参事 松本繁、高齢福祉課長 八木久美子、 高齢福祉課 山田光正、城安代、渡部宏一、保険年金課 山田文枝、環境課 渡 邊勝宏、社協地域包括支援センター 中野重利、佐屋苑地域包括支援センター 松本直子、社協佐織地域包括支援センター 鷺尾和軌
協議事項等	会議内容 （1）健診及び医療のデータから読み解く愛西市の課題について （2）高齢者のごみ出し支援について （3）その他
公開/非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人	なし
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 愛西市地域ケア推進会議名簿 ・ データから読み解く愛西市の課題について ・ 高齢者のごみ出し支援について ・ 市のごみ出し支援の状況

審 議 経 過

発言者	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・資料確認 ・委員長あいさつ
委員長	<p>それでは、次第に基づき議事を進行させていただきます。</p> <p>議題（１）健診及び医療のデータから読み解く愛西市の課題について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	『健診及び医療のデータから読み解く愛西市の課題について』説明
委員長	<p>ただいま、事務局より説明がありました。ご質問がございましたらお願いします。（なし）</p> <p>それでは、次の議題(2)の高齢者のごみ出し支援について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	『高齢者のごみ出し支援について』、『市のごみ出し支援の状況』説明
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明で、何かご質問はありますか。</p>
委 員	訪問型サービス B は市の補助金が入っていますが、これは自己負担が発生するのか、補助金だけで運営されているのですか。
事務局	訪問型サービス B は、住民が団体を作って立ち上げており、有料のところもありますが、詳しい金額はわかりません。
委員長	<p>その他、ありませんか。（なし）</p> <p>それでは、ごみ出し支援について検討してまいります。本日は環境課の方に出席いただいています。我々委員の意見をお聞きいただくこととなりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、検討事項（１）どのような場合にごみ出し支援が必要となるか、発言をお願いします。市の直営の地域包括支援センター、社協地域包括支援センター、佐屋苑地域包括支援センター、社協佐織地域包括支援センターの順にお願いします。</p>
事務局	<p>佐屋では、くひなお助け隊という団体があり、要望があればごみ出し支援をしてもらうよう調整をしています。ボランティアも人数が限られているので、ヘルパーが入っている場合は、ヘルパーでごみ出し支援ができないか確認しています。繋がらなかったケースは、ボランティアさんが自転車で行けない地域で受けていただけない場合があります。また、可燃ごみは月曜日と木曜日で、調整がうまくいかないときもあります。利用者の方が人と接触を嫌がり、繋がらない場合があります。</p>
事務局	社協包括の立田・八開地区ですが、立田地区でごみ出しのご希望がある場合は、スワロー会に相談して対応しています。

	<p>集積所までなかなかご自分で持っていけない方をお願いするケースが多いです。八開地区は、佐屋のグループですが、会員で八開地区の方もいるので、愛援隊をお願いしています。繋がらなかったケースは、要介護認定は受けていましたが、小規模多機能型事業所のサービスを使っているということで、総合事業との併用ができないということがありました。</p>
事務局	<p>佐屋苑では、ボランティア団体愛援隊は、以前は訪問型サービス B で活動していた団体ですが、今は無料ボランティアになっています。佐屋地区にはそこが介入されている方が多く、訪問していただけるメンバーがいれば無料で朝のごみ出しをしていただけることが多くありました。</p> <p>支援に繋がらなかったケースは、現在はごみ出しで悩んでいる方はいませんが、過去には、愛援隊のメンバーが佐屋地区に多いので、それ以外の地域の方のごみ出しの依頼があった時、家から遠いと支援できないケース等があります。</p>
事務局	<p>佐織地区は比較的団地が多いので、近所の人に助けてもらいながら、また、訪問型サービス B でごみ出しをしている方が多いです。課題としては、訪問型サービス B は、要介護認定の方では使えないので、初回認定で要介護が出て B が使えず困っているというケースがありました。今、そういったことで、愛西市社会福祉協議会で無料のボランティアを募集しています。ただし、なかなか朝早い時間ですと、ボランティアも集まらないという課題もあります。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ごみを出す時間帯の問題もありますね。前夜から出してはいけない。その辺りが難しい問題となってくると思います。では、地域包括支援センターの4人の方のお話と、資料 2、3 を参考に致しまして、委員のみなさんに話をお願いしたいと思います。検討事項に入りたいと思います。</p> <p>(1) の、どのような場合にごみ出しが必要になるかという事について、3人の委員に順にお聞きしたいと思います。</p>
委員	<p>どのような場合にごみ出し支援が必要となるか、私はリハビリの観点からお話しさせていただくと、議題 1 の 8 のところの要介護者の有病者の割合のところに出ています、糖尿病等の疾患の方が身体的にごみ出しが難しくなってきます。独居と疾病が重なった時にごみ出しの問題の対象になってくると考えています。</p>
委員	<p>私は民生委員で、一人暮らしで訪問ヘルパーに食事を作ってもらっている方が、朝のごみ出しができないとヘルパーから相談があって、私のごみ出しのついでに、その方の分も喜んでやりました。</p> <p>他には娘さんが遠くに住んでいて、土日には食事の用意をしに来るが、ごみ出しができないという相談がありましたので、立田地区のボランティアをしているスポーツ仲間に頼んだらやってもらえることになりました。縦の繋がりよりも、横の繋がりの方が大事だと思います。</p>
委員	<p>実際私が担当したケースですが、要介護の認定を受けた男性で一人暮らしで、ごみを集積所まで持っていく能力はありましたが、認知機能の低下でごみの分別ができなくなり、近隣からクレームがくるようになり、ごみ出しが</p>

	できず、ごみを自宅に溜めるようになったケースがあり、支援が必要と思います。
委員長	その他で何かご意見ございますか。
委員	<p>市の在宅医療と介護をうまく繋ぐ仕組みづくりをしています。非常に個別性の高い話ばかりで、実際に携わっている方の話は大いに参考にしたいと思います。僕なりに調べた中で、ごみ出し援助の各自治体の状況は、清掃業務を担当しているセクションで、通常のごみ収集にプラスアルファのサポートをしますというところと、今話が出ていたのもそうですが、訪問型サービス B といったサポートを使ってコーディネーターに入っていて、場合によっては有償ボランティアといった形で個別にごみ出しの援助をしていただくという、介護サイドからの援助でごみ出しをするパターンがあると理解しています。</p> <p>物理的にご自宅からごみ集積所までフィジカルな問題で行けないところだけではなく、認知症や精神的に片付けが困難でごみをまとめられない方もあると思うので、(2) のごみ出し支援の利用上の問題点のところになりますが、分別の手伝いをしてあげないと、ただ玄関先に出してあるごみを少し寄り道して取りに行くという事だけであればシステムチックな対応ができると思いますが、皆さんの意見を聞いて分かるとおおり、個別的な支援が必要と感じます。訪問サービスや総合事業の支援の中でやっていくことが現状としては必要と思いつながら、現状では愛西市は、まだ施行してないですが、ふれあい収集事業といった環境課での活動がどこまでできるのか、議論としては盛り上がっていくと良いと思います。</p>
委員長	ただいまの意見は、実は私は検討事項 (3) でいただいたかった意見です。ありがとうございます。それでは、今度は (2) の既存のごみ出し支援の利用上の問題点について、3 人の委員さんに順に発言をお願いしたいと思います。
委員	<p>訪問型サービス B でごみ出しをしている代表者から聞いた話です。</p> <p>ケアマネからごみの分別はちゃんとして出すという約束で引き受けたが、分別がされていなかったり、生ごみの水分が出ていて漏れていたため、ボランティアが自宅に持ち帰り分別をしてから出したという話を聞きました。気持ちよくボランティアをしていただきたいので、包括やケアマネもボランティアに依頼したら終わりではなく、利用者のごみ出しについての注意点を声かけしていただけると助かります。</p> <p>問題点ではないのですが、須依町で通所型サービス B と訪問型サービス B を実施している代表者は、通所型サービス B のサロンの参加者にも、近所の方が困ったことがあったら手助けしてあげてということを常々話しているそうです。資料 3 のように、数に上がらない活動も広がっていますので、そのような活動を増やしていくことが大事なことだと思います。</p>
委員	私たちヘルパーは朝から活動し、早いところだと 7 時とか 8 時もありますが、それは身体的に排泄が間に合わないとか、いろいろな個々の理由事項があります。8 時～8 時半にデイサービスの送り出し、身体介護でヘルパーに入

	<p>る時に、ごみを出しに集積所へ走って行くこともあります。ただ、すぐ出せるようになっていないとごみ出しが出来ないです。分別ができない方は、ヘルパーが仕分けをして、玄関先の蓋つきのバケツに入れ、近隣の方に蓋を開けてついでに持って行ってもらう等しています。時間帯の問題、集積所のネット等の問題、市で少し研究していただきたいと思います。</p>
委員	<p>ケアハウスは個人で愛西市にごみ出ししていますが、きちんと分別がされていないことが多くて、ケアハウスのスタッフが分別しなおすのが、実情になっています。</p> <p>課題（２）の話とは違いますが、施設の前に大通りがある、そこにゴミ捨て場がありますが、いつも通勤の時の時間帯がごみ出しの時間で、そこをいつも高齢者が歩道でもないところで荷台を押しながらごみ捨てをしているので、ちょっと危ないという感覚が常にあります。</p> <p>調べたところによると、夜間帯ごみ収集を行っている市町村もあるようですので、環境課も時間等を考えてもらうと良いと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、検討事項（３）の愛西市に望まれるごみ出し支援の形というところで、お話をいただきます。</p>
委員	<p>生活支援コーディネーターをしていて、時間的にヘルパーを利用できなかったとか、ご近所やご家族の支援が受けられないという方のケースをボランティアに繋げるケースが多くなっているように思います。資料２の事例にもありますように、やはり市全体の高齢化で近所に頼むといっても、近所の方も高齢化が進んでいて、なかなかそれもできないことがボランティアの依頼件数が増えていると思います。生活支援サポーターの登録人数は、市内で 77 名です。内訳は、佐屋地区で 35 名、佐織地区 21 名、立田地区 15 名、八開地区 5 名で、あと市外が 1 名ですが、実際活動していただいているのは 10 名前後です。</p> <p>先日独居の男性で、片足を切断されて退院するので、ごみ出しをお願いできないかとケアマネからご相談を受けました。その方は、集積場は近くなので、自分で出すと言われ、1 時間かけてごみを出されたそうです。</p> <p>近所だからこそ、頼みたくないという方もあります。集積場の場所も一つ課題だと思います。ヘルパーが入っていただく時間に出せないという集積時間もあると思いますが、集積の場所というところでも課題があると思いますので、個別対応も視野に入れていただくと良いと思います。</p>
委員	<p>デイサービスとしては、要介護者の方が多いです。ごみ出し支援で訪問型サービス B は使えない方がいて、要介護の状態、独居で頑張っている方はたくさんいます。現状、デイサービスの送迎時間で、本来はごみだからと断るケースですが、私もこういう委員をさせていただいているので、送迎時間に一緒にごみ出しをしています。ヘルパーは朝は無理だけど日中だったら OK なので、ヘルパーにごみを収集、分別して送迎時の玄関のところに置いてもらって、送迎時に利用者</p>

	<p>と一緒にゴミを持って行くこともありますが、集積場が遠いです。</p> <p>望まれる支援というもの、ボランティアだったり、活動されている方は本当に少なく、要介護は結構サービスを使えそうで、お金の問題もあります。独居で生活されている方でも何かしら1週間通して誰か訪問してくれたり、そういう支援があると思います。ゴミ出しの時間帯以外に、高齢者は黄色い袋で出していい等いろいろな方法があると思います。</p>
委員長	<p>何か大変良いアイデアが飛び出したと思います。ゴミ出しのことに关しまして、環境課として今の皆の意見を聞いて、どんな感想ですか。</p>
事務局	<p>皆の意見をお聞きして、ゴミ出し支援は、個別の回収が課題だと認識しています。今日頂いた意見は、課に戻って我々の問題点として認識して考えていきたいと思ひます。事業課との協力が必要となると思ひますので、協力をしながら続けていけたらと考えております。</p>
委員長	<p>それでは、最後に副委員長にまとめていただきたいと思ひます。</p>
副委員長	<p>以前はゴミ出しができない高齢者もいましたが、どちらかという個人の問題であり、個人の困り事として支援していた気がします。今は市として取り組む課題として取り上げています。今回、環境課も出席していただいておりますが、ゴミ出しは長く地域ケア会議でも取り上げられていましたし、介護保険、それから高齢者福祉の事業計画等にも愛西市の課題として入れられています。いろいろな立場の方と一緒に検討できる場を作っていただけたということは、私として、市民としてお礼を申し上げたいと思ひます。</p> <p>ゴミ出しについていろいろな事業者やボランティア、地域の方が個々に関わって取り組んでいますが、その中での課題は、まず8時までにごみを出すところを何か検討できると思ひます。なぜ8時か、ルールを変えることができれば、ゴミ出しのしやすさも変わってきます。</p> <p>また、ゴミステーションを頑丈な物を作れば、前日に出しても良いとも感じました。ゴミの分別ができない方にどう対応していくか、本当に個別対応が必要と思ひました。</p> <p>それから近所同士の協力やボランティアがしているいろいろな支援があります。そして、ケアマネジャーやヘルパーがしている中、いろいろな社会資源の中で、個別の取り組みだけに任せるのではなく、きちんとした仕組みにしていくことで、安定的なサービスにつながっていくと思ひます。ゴミ出し検討委員会だと行政のいろいろな課が関わり、事業所やボランティア、一般の人たちも関わってしていくことだと思ひます。委員会を設置しますと、今日のようないろいろなアイデアも出てきます。</p> <p>愛西市地域福祉計画が令和4年3月に策定され、今年度からスタートしていますが、住民を対象としたアンケートでは、2,000人のうち、半分の51%の約1,000人が回答しています。「ボランティアをやりたいですか」とい</p>

	<p>う質問で、「参加している」という方が10%の100人、「機会があれば参加したい」という方が28.9%の約300人の方は機会があればやってみたいというところに○を打っています。やってみたいという方が参加できるような体制づくりも一つあり得ると思います。介護保険事業計画にも入っていますので引き続きこういったごみ出しのことについて、お願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>地域ケア推進会議というのは、自治体の政策形成に提言する、これが私たちの会議の大きな中心となる考え方です。援助の必要な人のごみ出しの袋の色を変えるなんていうのは、これは提言です。とても良い意見が出たのは、ここにお集まりの皆さんお一人お一人が、それぞれの立場で非常に大きな力をもっていると思います。こういう皆のつながりを大切にさせていただいて、これが2年間のプラスだったというふうな形で今日は終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>皆様今日は長時間に渡りご審議いただきまして誠にありがとうございました。これまで貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。</p>